

# アメリカ西部のカーリン型金鉱床

ネバダ州北部一帯にはカーリン型と呼ばれる、堆積岩中に極微粒の金が鉱染状にはいりこむタイプの金鉱床が数多く分布し活発に採掘されているが、1986年にはカーリン・トレンドと呼ばれる鉱化帯にこれまで最大のGold Strike鉱床(地質埋蔵量約1億4千万トン、品位 3.5g/t

Au、含量約500トン)が発見され、今やこの一帯は現代のゴールドラッシュの様相を呈している。ここに、カーリン・トレンドの代表的な2つの鉱床、CarlinとGold Quarryの両鉱床を紹介する。

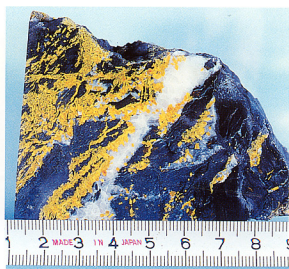
(地質調査所 鉱物資源部 富樫幸雄)



1. Carlin 鉱床 East Pitより本号表紙撮影地点方向を望む。



2. Carlin鉱床の代表的鉱石 (7~8g/t Au)



3. Carlin鉱床産石黄As<sub>2</sub>S<sub>3</sub> (黄色い網状脈)。



4. 機上から見たGold Quarry鉱床全景。一帯は典型的なBasin and Range地形を呈する。



5. Carlin鉱床East Pitでの鉱化されたデボン紀シルト質石灰岩。



6. Gold Quarry鉱床産ジャスペロイド。(×0.9)



7. Gold Quarry鉱床産の風化起源明ばん石脈 (白色脈状部)。(×0.9)